

2011年6月～

人間歯科学研究会報

人間歯科学研究会

〒567-0883 茨木市大手町 7-26

FAX 072-626-6519

E-mail yoshihara@gold.ocn.ne.jp

噛めば噛むほど子どもは伸びる！

突然暑くなりましたが、お変わりなくお過ごしのことと存じます。

5月のお知らせや会報が遅くなりましたが、いくつかのニュースと共にお送りいたします。「噛めば噛むほど子どもは伸びる！」について、症例写真ページの説明が無いので解りにくい…との報告を頂きました。

乳歯列前歯交叉咬合の例は、酸性唾液で歯の表面は脱灰して光がなく、う蝕罹患時には進行が早く複数歯が同時にう蝕にかかりやすいと思われる一例です。

体重に比して咬合力が弱く、咀嚼力も弱いため表情や全身を見ても、ひ弱な感じを受ける言語数の少ない男児でした。CamCam STを2年近く噛んだところ歯列弓の拡大が著しく、言語数が爆発的に増え、頭の回転が速いので理解力も高まり以前とは比べものにならないほどのおしゃべりになりました。これらは担当医でなければ理解できないことなのかもしれません。いつの日か、数値的に証明することが出来ると思います。(別紙左)

次は、混合歯列期の前歯の交叉咬合で、乳歯列弓と永久歯列弓の差が大きくPanorama X-rayで第一小臼歯と側切歯の骨内転移が激しかった例です。

CamCam MDを使用して1年後には咬合力は体重をはるかに超え、歯の交換期であるにもかかわらず咀嚼率が90%を超えました。

集中力が伸び、脳波はアルファ波が良く出るようになりました。もう少し集中し、PCRを10%代に高めるためにBrushing指導を充実させます。(別紙右)

CamCamによる顎顔面・歯列咬合の発育と、精神力や知能の発達力は他に類を見ない効果を発揮します。

CamCamの展望

CamCamは局所的なトレーナーやマッサージャーとは違い、歯科医療の流れの中で人間科学の眼で見た研究の成果から生まれた製品であり、これまでの歯科産業界や歯科学会の発表で習慣化された歯科医師の思い込みのような一つの流行物のように考えていただきたくありません。

CamCam は人間が成長していく過程で、学習し習得し、そして機能させていく中で素晴らしい成果をもたらします。したがって、CamCam トレーニングは何時から初め、どの程度で終わらせるのかではなく、生活の中に Brushing があるように CamCam を取り入れてください。

毎日の積み重ねが、今後さらなる研究の成果として報告されるでしょう。

つい先日、TV で咀嚼力や咀嚼回数が、歯根膜や歯肉毛細血管から脳への血流変化に相関性のあることが報告されたと放送していました。

脳生理学では、アドレナリン、ノルアドレナリン、ドーパミン、エンドルフィンなどとシナプス結合の研究が盛んです。ここでも Spatula Type の歯ブラシと CamCam が素晴らしい効果を発揮しているデータが集まってきています。中には、アルツハイマーの予防と治療に効果があるという報告もあります。

A.DENTAL Toothbrush series

Spatula Type の歯ブラシは、生理学調査の結果を分析することによって Brushing 法は、理想的な、力をかけないタテ・ヨコみがきで十分な能力を発揮するように設計されています。Brushing 時間は 5 分程度を目安にじっくり丁寧に、且つ歯肉をゴシゴシこするのではなく優しくマッサージするように行うのがベストです。

この歯ブラシは、特に材質にこだわってブラシ部のナイロンやハンドル部の樹脂を選定しているだけに、安全で安心してご使用いただける高品質な製品となっております。手になじみやすいので、乳幼児や先天的に障害を持つ方にも大変ご好評を頂いております。

多発性う蝕や歯周病と診断された場合には、二段植毛歯ブラシ「Clear 20MS」、そして一毛束歯ブラシ「One」での Brushing をお勧めします。

外科手術の前後には、歯肉や歯面に優しい柔らかめのナイロンを使用した「Egg Round」が非常に優れた効果を発揮します。

Academy

日常診療に未知なる製品が入りこむことに違和感を覚えるドクターでも、スタッフもしくは身近な方が使用し、その成果を報告すると新たな取り組みを拒んではいけないのではないのでしょうか。研究会や勉強会には参加されることをお勧めします。

現在の歯科医療に満足していなかったり、新しいものに興味があったり、他の歯科医院との違い (Skill Up) をお考えの先生は、是非一度(株)エーデンタル社の製品を手にとってスタッフの方や患者様と共に使用感をディスカッションしてみてください。思いがけない提案が飛び出してくるかもしれません。